



若松海保だより

若松海上保安部では、4月の定期異動により約半数の職員が交代しました。

4月7日以降、福岡県独自の「感染再拡大防止対策期間」が終了しましたが、依然としてコロナ感染者は高止まりの状況が続いております。今後、コロナ感染状況が落ち着いてきた際には、これまで一旦中止していたイベントなどを再開しますので、ご期待下さい。

今回の人事異動で、新しく当部に着任しました交通次長・管理課長・交通課長をご紹介します。

交通次長のご挨拶



交通次長
麻生 佳孝

友の会会員の皆様、はじめまして！
この4月15日付で若松海上保安部交通次長を拝命しました麻生と申します。



若松保安部勤務は2回目です。

皆様が海保に親しんでいただけたよう様々な活動を行いたいと考えています。

皆様と交流できる日を楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

管理課長のご挨拶



管理課長
山本 秀樹

この度、第十一管区海上保安本部から異動してきました山本です。第七管区での勤務は4回目となりますが、過去3回は巡視船での勤務でした。若松は初めてとなります。保安部の窓口として対応していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



交通課長のご挨拶



交通課長
古川 佐紀子

はじめまして。4月1日付で若松海上保安部交通課に着任しました。若松海上保安部での勤務は初めてです。



過去には船艇での勤務もあります。

交通課業務としては主に海上に浮かぶ赤や緑色の灯浮標(ブイ)や陸上にある灯台の保守管理を担当しています。

管理する灯台の中には白洲灯台など明治期に建てられた立派な歴史的建造物もありますので、機会がありましたら紹介していきたいと思っております。

ＬＪ着用キャンペーン

昨年末のライフジャケット着用強化キャンペーンに合わせ、エアステーションひびき(コミュニティFM局)に協力をいただき、ラジオCM作成を行いました。

出演者は、女性海上保安官と男性海上保安官の親子3名との共演で、事前練習も行い、素晴らしいラジオCMが作成出来ました。

同CMは令和4年1月初旬から計50回放送されました。



ラジオCM作成中



女性海上保安官



男性海上保安官親子

航空機と巡視艇による 洋上救助訓練

3月7日(月)北九州航空基地所属のヘリコプターと当部所属巡視艇との合同洋上救助訓練を行いました。

訓練は、海中転落者の救助を想定したもので、ヘリコプターに同乗した機動救難士が巡視艇に降下、巡視艇と連携し、海中転落者を吊り上げ救助するといった連携訓練です。今後も海難事故発生時における海、空連携した救助体制の構築に努めます。



救助者吊り上げ訓練



灯浮標交換作業

3月上旬、第七管区海上保安本部交通部整備課職員と当部交通課職員は、若松航路、奥洞海航路及び六連島西水路に設置された灯浮標6基の標体交換作業を行いました。

台船に揚収された標体は、4年間も海に浸かっていたため、カキ類がびっしり付着し、係留チェーンも摩耗しておりました。

整備済の新標体を設置して作業が完了しました。



灯浮標標体の吊り上げ



標体に付着したカキ



市内児童による職場見学

1月6日(木)八幡東区在住の児童13名を受け入れ、職場見学会を行いました。

見学会では、当庁の業務説明、3D海図体験、施設及び船内見学を行いました。船内見学時の潜水士うみまる」と児童とのふれ合いの場では、児童から大きな歓声が上がするなど、大盛況の見学会となりました。



業務説明等



うみまると児童



ライフゼム(空気呼吸器)装着体験

海上保安官募集活動

3月18日(金)から始まる海上保安学校学生採用試験(特別)のインターネット受付に合わせ、海上保安官募集の横断幕を作成し、若松南海岸通りを往来する多くの住民の目に留まるように願いを込めて巡視艇桟橋に掲示しました。

※ 友の会会員の皆様におかれましても、ご家族やお知合いの学生の方に保安学校受験を考えるようにお声掛けをしていただくと、海上保安官募集活動へのご協力をいただければ幸いです。



巡視艇基地



海上保安官募集横断幕



海上保安官採用サイト

若戸大橋橋梁灯点検立会い

昨年12月初旬、北九州市が管理する若戸大橋に設置された橋梁灯（海上保安庁が許可した標識）の適正な管理状況を確認するため、管理者の委託業者による点検に当部交通課職員が立会い、適正な維持管理状況を確認しました。

※ 立会った交通課職員は、橋梁から海面まで40mという高さに恐怖を感じたようでした。



若戸大橋橋梁灯



右舷灯



中央灯



左舷灯



感染防護衣装着

1月21日(金)当部管内の離島における急病人発生を想定した急患搬送訓練を行いました。
 感染防護衣の着脱や急病人の搬送を行い、急患搬送事案発生時の円滑な対応に繋がる訓練となりました。

急患搬送訓練



機器制御装置点検



灯器取付状況点検



急病人の搬送訓練



急病人の搬送訓練

白洲灯台巡回点検

1月25日(火)当部交通課職員は、白洲灯台の臨時保守点検として、強風による灯室周囲のガラス補強、灯火監視装置空中線(アンテナ)固定箇所補強等を行いました。



白洲灯台巡回点検



ガラス補強作業



キャリア教育 夢授業

当部管理課職員は、昨年11月から本年3月までの4か月間に亘り、管内の小・中学校で開催された「夢授業」に参加し、小学校12校・中学校2校約300名の生徒に対し、海上保安官の仕事内容の紹介を行いました。令和4年度も海上保安官の仕事とやりがい」を伝えられるよう継続して参加します。(「夢授業」の詳細は第1号に掲載)

※ 夢授業の最終回は、TVにも取上げられ、管理課長がインタビューを受ける場面がTVQ九州放送で配信されました。



小学生の皆さんに仕事をしているやりがいを伝えて未来に夢をもって勉強に励んでもらいたい



人を助ける場所にやりがいを感じるところにあこがれを持ちました

若松警察署長との意見交換会

4月20日(水)若松海保と若松警察署との連携関係を深め、トツプ同士の顔の見える関係の構築を目的とした意見交換を管内重要施設の洋上視察を兼ねて実施しました。



若松海保部長

若松警察署長



白島国家石油備蓄基地

若松警察署長

若松海保部長

遊覧船運航事業者への
緊急安全点検

4月23日(土)に知床沖で発生した遊覧船の事故を受けて、同28日(木)に当部航行安全課職員は、管内の遊覧船運航事業者である若戸渡船に赴き、運輸局と合同で緊急安全点検を実施し、運航管理及び安全管理体制の確認を実施しました。



船長

航行安全課長

船長からの聞き取り状況



救命設備の点検状況



機関室の点検状況

制服コレクション

5月7日(土)〜8日(日)の2日間に亘り、イオン若松で開催された制服コレクションに参加しました。

若松海保ブースには約500人が訪れ、制服試着体験や抽選会当選者への海上保安協会グッズ詰め合せの配布などを行い、当庁の認知度向上を図ることができました。

また、併せて学生募集及び海難防止啓発活動も実施しました。



制服試着体験



うみまるバルーン



制服コレクションとは…

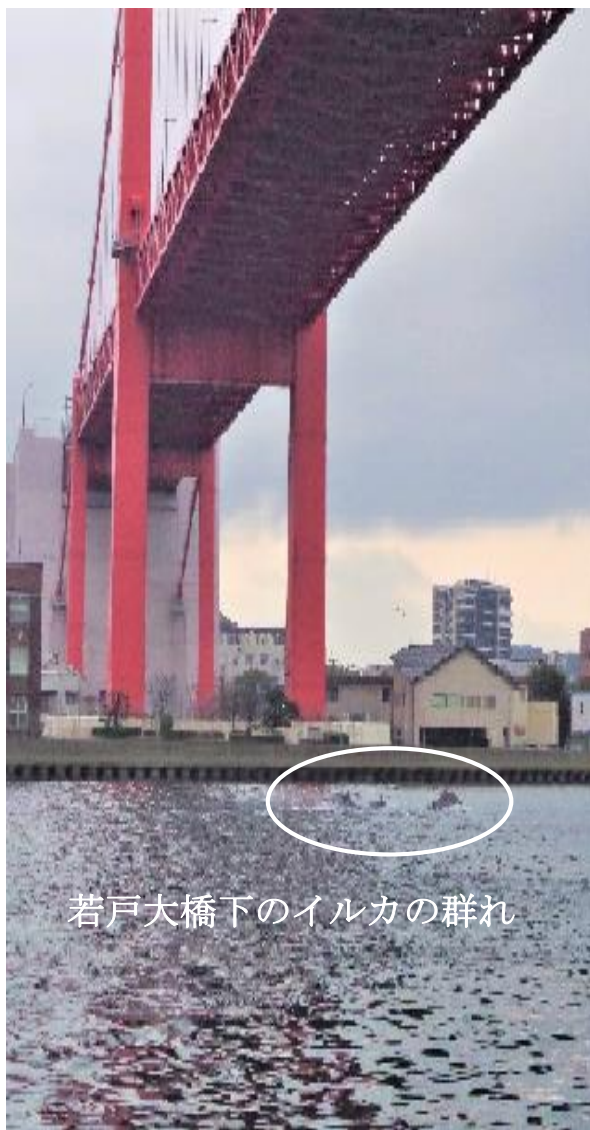
イオン若松来場者に対し、制服試着体験を通じその職業に関し愛着と知識を深めてもらうことを目的としたイベント。



昨年11月、若松区と戸畑区を結ぶ「若戸大橋」が国の重要文化財に指定されました。

大正から昭和にかけて、八幡製鉄所を中心とした工業の発展に伴い、洞海湾を行き来する貨物船の過密化が進む中、若松と戸畑を結ぶ渡船に代わるものとして、「若戸大橋」が建設されました。着工は昭和34年（1959年）で、動員された労働者は延べ約61万人、東京タワー5つ分に当たる約2万トンの鉄鋼が使われ、赤色に塗られたのは「威厳を示すため」とも言われています。

昭和37年（1962年）に工事が完了した時には、「東洋一の夢のつり橋」と呼ばれ、その技術が後の関門橋や明石海峡大橋などの建設に生かされており、今回、歴史的にも重要であることが評価されました。



若戸大橋下のイルカの群れ



洞海湾を泳ぐイルカの群れ

洞海湾にイルカの群れ

左の画像は、今年3月1日、当部所属の巡視艇わかかぜが洞海湾をパトロール中、若戸大橋のたもとで遊泳する約10頭のイルカの群れを発見し、画像に収めたものです。

イルカは数日間、洞海湾で目撃され、報道各社が取材に訪れ、画像がTVでも放映されました。

※ 令和4年4月1日に若松海上保安部ホームページをリニューアルしました。今後も、ホームページを通して若松の海に関する様々な情報を発信します。

発行：若松海上保安部
〒808-0034
若松区本町1丁目14番12号
電話 093-761-2497



若松海上保安部HP

※ イベント情報
令和4年6月5日（日）
北九州航空基地見学会を開催予定